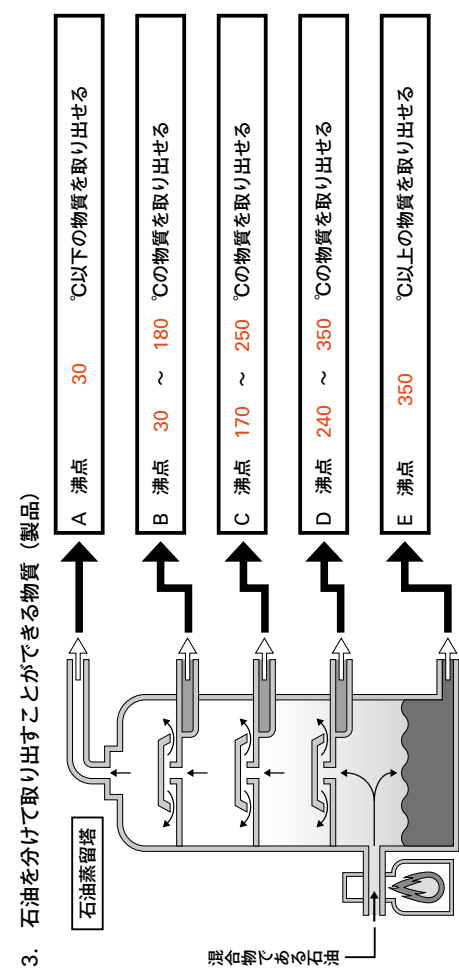


学習課題 石油はどのように利用されているのだろうか

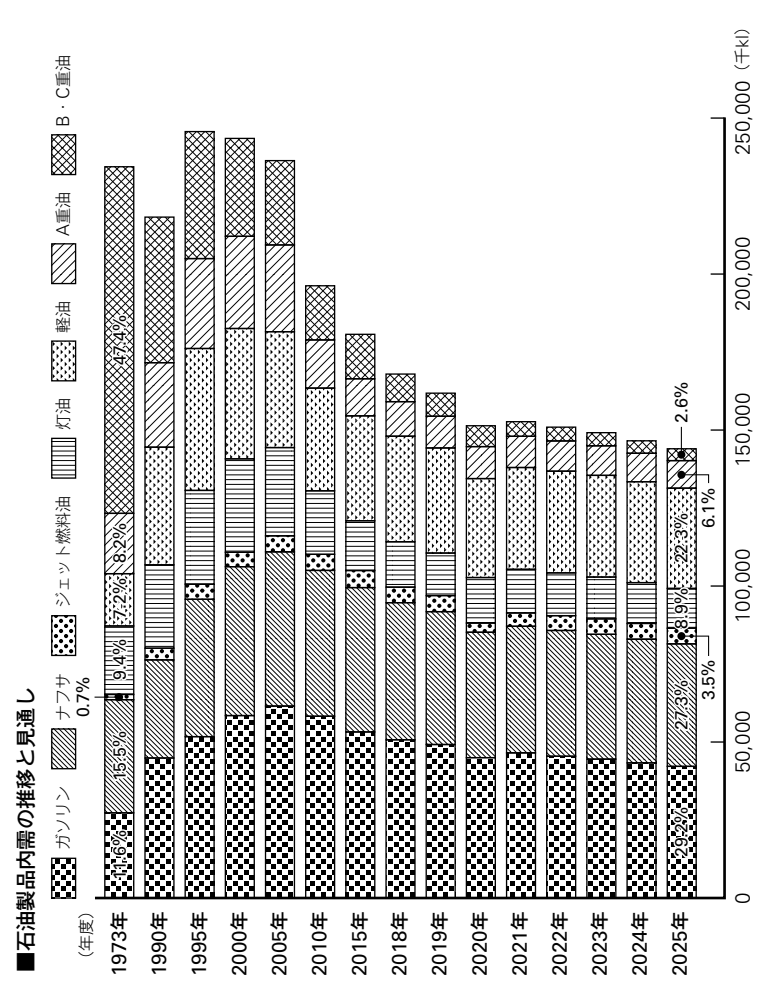
- 石油ってどのような物質でしょう。
 - (記入例)
 - 用途に合わせてわけることで、余すことなく使うため。
 - 使い道を多くすることで、すべて使い切れるようになるため。プラスチック、灯油、ガソリンの原料。
 - 大昔の生物の遺骸などが変化したもの⇒化石燃料
 - 可採年数が約50年

2. 液体を分ける方法を (蒸留) という。(沸点) 違いを利用して分ける方法。



種類 (主に取り出せる位置)	沸点	用途
① 液化石油ガス (A)	30°C以下	ガス燃料 (コンロ) など
② ガソリン (B)	30 ~ 220°C	車の燃料
③ ナフサ (B)	30 ~ 180°C	プラスチックの原料
④ ジェット燃料油 (C)	150 ~ 280°C	飛行機の燃料
⑤ 灯油 (C)	150 ~ 250°C	ストーブの燃料
⑥ 軽油 (D)	240 ~ 350	ディーゼル燃料 (トラックなど)
⑦ 重油 (F)	350°C以上	船・ボイラーの燃料・火力発電の燃料

- なぜ、細かく分けて利用しているのでしょうか?
 - (記入例)
 - 用途に合わせてわけることで、余すことなく使うため。
 - 使い道を多くすることで、すべて使い切れるようになるため。



5. この図からどのようなことがわかりますか。

(記入例)

- 全体の石油使用量は減っている。原因は省エネの成果。
- 火力発電に使用されている重油の量が減っている。LNGで火力発電を行っている。

6. 感想

(記入例)

- 石油は掘り出してそのまま使っているのではないことがわかった。
- 授業で学習した、蒸留を使い石油を分けることで、あまりなく使えることがわかった。
- 余らせないことで、限りある資源を有効に使えることがわかった。